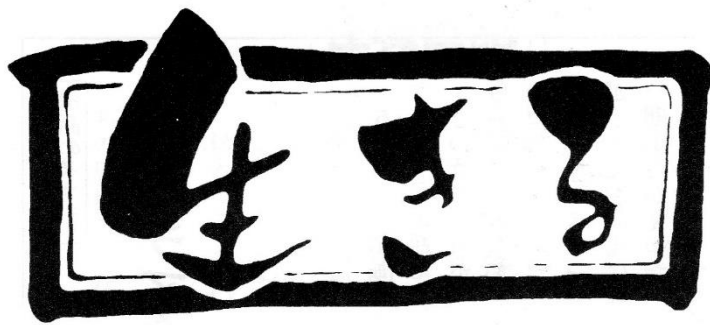
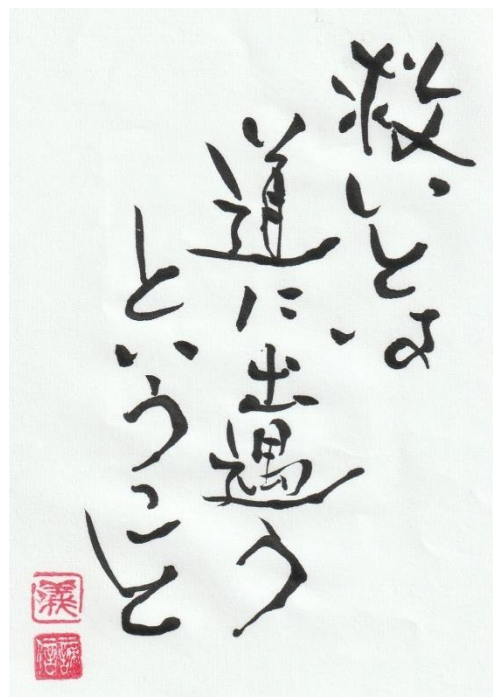




真宗大谷派 存明寺通信

No.206

2022年（仏歴2553年）3月1日発行



←お寺の行事に Zoom で参加できます。
↓こちらから（事前にご一報ください）

◆3月12日（土） 14時～16時半
親鸞しんらんに人生を学ぶ「樹心の会」
内容…勤行・お話・語り合い

◆3月21日（月） 11時と13時
春のお彼岸法要ひがん
内容…法要とお話（酒井義一）

◆4月9日（土） 14時～16時半
親鸞しんらんに人生を学ぶ「樹心の会」
内容…勤行・お話・語り合い

◆5月3日（火） 10時～12時
亡き人をしのぶ永代経法要えいたいきやう
内容…法要と法話

講師…渡辺智香師のりか（西福寺住職）



<https://qr.paps.jp/Evu01>

ミーティング ID: 947 3678 3295

パスコード: 009886

創作法話

じんせい しゅくだい

人生の宿題

―健太郎くんの見た地獄と極楽―

住職 酒井義一

学校の宿題なんて、本当はちっぽけなもの。だって、いずれなくなってしまうから。もっと大きな宿題がある。それは、人生の宿題。君にも僕にもあなたにも、人生の宿題がある。では、物語のはじまり、はじまり。

その男の子の名前は健太郎くん。小学校5年生。とっても元気がいい。でも、勉強は大嫌い。

「ただいま〜」

といって学校から走って帰ってくると、ランドセルをポーンと放り投げ、ゲームのいっぱい詰まったバッグを持って、

「行つてきま〜す」

と元気よく家を飛び出していきました。その時です。あぶない！自動車！急ブレーキ！

「キキキキキッー」

気がつく
と健太郎く
ん、暗〜い
闇の中、白
〜い道の上
をひとりト



ボトボと歩いていました。

やがて道がふたつに分かれるところになってくると、真ん中にエンマさまがいました。

「やあ、君は健太郎くんだね。

う〜ん、残念。君はまだ死んではいけない。だから、ここから先には行くことができない。でもせっかくなので来たのだから、ちよつとのぞいていくとい

いよ、左に行くと地獄、右に行くと極楽浄土」

健太郎くん、最初に地獄をのぞいてみることにしました。地獄と

いうと、怖い鬼がいるのではないかと思いましたが、その世界は私たちの世界とあまり変わりがありません。

人々の心の中には自分さえよければそれでいい、他人はどうなってもかまわない、という心がありました。

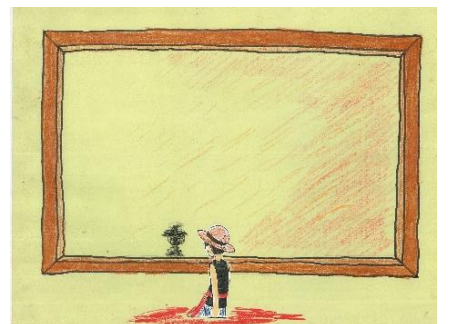
実は私たちの中にあるそういう心が、やがて地獄を作ります。私たちの中には地獄を作ってしまう心があるのです。これが健太郎くんの見た地獄という世界でした。

次に健太郎くん、極楽浄土をのぞいてみることにしました。さぞかし人々は仲良く平和に暮らしているのではないかと思つてのぞいてみると、極楽浄土は地獄とたいして変わりがありません。

争い・けんか・不登校・いじめ・・・同じように人々は心に

闇を抱え、時に間違いを犯す。そんな世界でした。でも、ひとつだけ違うことがあったのです。その極楽浄土には、大きな鏡がありま

した。



全世界を映し出すような大きな鏡があったのです。人々は、その前で立ち止まり、自分の中に地獄を生み出す心があることをちゃんと知っていく、そういう生き方を

していたのです。

自分のことをちゃんと知っていく。これはとっても大切なことです。よい成績をとることよりも、よい学校に行くことよりも。なぜなら、どれだけよい子になれたとしても、みんな心の中に闇を持っているからです。

やがて健太郎くん、元の世界に帰る時がきました。エンマさまは最後にこう言いました。

「地獄・極楽という世界は、死



んだ後に行く世界ではない。今この世の中にある世界なんだ。どうか、自分のことをちゃんと知っていく、そういう生き方を大切にしてほしい。それが健太郎くんの人生の宿題。そう、人生の宿題だよ」

人生の宿題。健太郎くん、勉強は嫌いです。宿題も大嫌い。けれどもエンマさまが言った人生の宿題、大変心に残りました。何か大切だなあと思いました。自分のことをちゃんと知っていく・・・。

ふっと気がつく健太郎くん、家の前で倒れていました。車はピタッと止まって、かすり傷ひとつありませんでした。あまりびっくりしたので、しばらく気を失っていたのです。これが健太郎くんの体験した不思議な物語です。

自分のことをちゃんと知っていく。そういう生き方を一人ひとりが見つけて

いく。これが私たちの人生の宿題です。私たちには闇があるのですから。

誰もが持っている人生の宿題。

皆さん、この宿題をけっして忘れないように生きていきましょう。

創作法話「人生の宿題」

―健太郎くんの見た地獄と極楽―
これにて、おしまい、おしまい。

了



この『人生の宿題』というお話は、2021年秋に東本願寺から出版された『ほとけさまのおはなし』に収録されている酒井住職の文章です。

かつて東本願寺で行われた「子ども奉仕団」の時に、子どもたちにお話をした内容です。

私を照らすひかりの言葉

―お寺の掲示板の言葉たち―

街ゆく人に仏さまの言葉と心を。

そんな思いを込めて、お寺の3カ所の掲示板に言葉を掲げています。

門前 お寺のテーマとなる言葉。

境内 經典や親鸞聖人の言葉を。

街角 自転車でも読める言葉を。

【2月】

門前

常に心に
思い続ける言葉をもて

境内

つみをけし
うしなわずして
善になすなり

親鸞 しんらん
唯信鈔文意 ゆいしんしょうもんい

街角

亡き人が
「あなたも死す身」だと
呼びかけてくる

【3月】

門前

救いとは
道に出遇うということ

境内

聞きがたくして
すでに聞くことを得たり

親鸞 しんらん
教行信証総序 きょうぎょうしんじょうそうじょ

街角

花咲かす
見えぬ力を 春という
人と成す な
見えぬ力を 仏という ぶつ



お寺のひろば 2022年(令和4年)

3月4日(金)	13時	おそうじの日
3月12日(土)	14時	樹心の会
3月21日(月)	11時と13時	春のお彼岸法要
3月26日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
4月9日(土)	14時	樹心の会
4月28日(木)	10時	おみがきのつどい
5月3日(火)	10時	永代経法要
講師・渡辺智香さん(川崎組・西福寺住職)		
5月14日(土)	14時	樹心の会
6月11日(土)	14時	樹心の会
6月25日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
7月9日(土)	11時	新盆法要
7月13日(水)	11時と13時	お盆法要
8月27日(土)	午後	青年のつどい
9月10日(土)	14時	樹心の会
9月16日(金)	13時	おそうじの日
9月23日(金)	11時と13時	秋のお彼岸法要
10月1日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
10月15日(土)	14時	樹心の会
10月28日(金)	10時	おみがきのつどい
11月2日(水)	14時	報恩講のゆうべ
3日(木)	10時	報恩講法要
11月12日(土)	14時	樹心の会
12月10日(土)	14時	樹心の会
12月17日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
1月1日(日)	10時	修正会

オンラインZoomにて参加することも可です。
どうぞお気軽にご参加ください。



存明寺のHPはこちら→

<https://zonmyoji.jp>



相談できるお寺
存明寺

あなたのお話をお聞きます。
まずはメールでご連絡下さい。
(住職：酒井義一)

sakai@zonmyoji.jp

カンパ御札

『生きる』誌にお志を頂きました。
厚く御礼申し上げます。

稲葉厚子さん・大西伴子さん
海和弘志さん・金丸タカ子
禿 覚英さん・島田レイ子
調和晃磨さん・清光正孝さん
竹下素子さん・竹谷タケ子
中根久恵さん・羽田節子さん
藤江節子さん・本多清江さん
本多倫子さん・森 順乃さん
結城貴代子さん

過去3年間
計148,000円

あとがき

▼新型コロナウイルスはその姿を変化させながら生き延びています。人類は、様々な制約を受けながら、今をなんとか生きています。▼そのような現実の中で、私たちがけつして見失ってはならないことは、いったいなんなのでしょう。▼それは、今という時をいねいに生きること。人と直接語り合うことをあきらめないこと。そして、共に仏さまの教えに出会い続けるということ。巣ごもり生活の中で、そのような思いを強くしています。▼困難な生活はまだしばらくは続きそうですが、生きることをあきらめずに、毎日を通していききたいものです。皆さま、お体くれぐれもご自愛くださいませ。

(住職・釋諦信)

東京都世田谷区北烏山4-15-1
真宗大谷派 存明寺
住職 酒井義一(釋諦信)
TEL 03-3300-5057
FAX 03-3300-5880
E-mail: sakai@zonmyoji.jp